

環境まちづくり会報

編集・発行／入間市環境まちづくり会議

●あいさつ

会報の創刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、金子地区で狭山茶の生産や販売をしている農業者の一人ですが、今年の1月から設立準備会の委員として活動をしてきた関係から、この会の会長という大役を引き受けることとなった次第です。本年7月14日



会長
岡内定男

に開催されました設立総会におきまして、会員のみなさまのご承認をいただき、改めて責任の重さを痛感しているところでもあります。さて、この会は、入間市内で生活や事業を営む市民、事業者、民間団体と市役所がつながり、お互いに協力・連携をしながら、「環境にやさしいまち入間市」を築いていくことを目的とした、新しい組織でございます。また、この会の活動の基本となるものは、私たち一人ひとりの環境に配慮した自発的な取り組みでありますので、身近にできることから、環境にやさしい行動の輪を家庭、学校、地域や職場などに、広げていくことが

できればと考えているところでもあります。今後の2年間、私たち役員全員が、力をあわせて取り組むことはもちろんですが、この会の趣旨に賛同し、入間市といっしょになって、活発な意見交換や活動による汗を流しながら、この会の基礎づくりに、そして、環境にやさしいまちづくりのために、微力ながら努力をしてみたいと考えております。市当局の皆さまをはじめ、関係者の方々の暖かいご指導と、全面的なバックアップをお願い申し上げます。

●お祝いの言葉

環境まちづくり会議の会報創刊にあたりお祝いの言葉を申し上げます。

入間市は、加治丘陵や狭山丘陵などの豊かな自然に恵まれ、文化と産業が調和した活力あるまちとして発展してきましたが、その一方で、私たちの大量消費型の暮らしが、廃棄物の増大や大気汚染、資源・エネルギーの大量使用をもたらし、私たちの未来と地球環境に悪影響を及ぼしています。



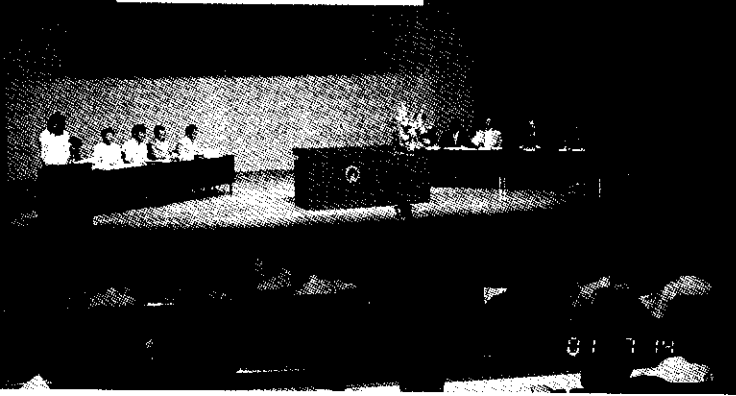
入間市長
木下 博

これらの環境問題を足もとから解決するため、入間市では、平成12年3月に環境基本計画を策定し、本市がめざす望ましい環境像や具体的施策、各主体の役割などを定めました。この計画を実現するためには、行政だけでなく、市民、事業者、民間団体が互いに連携し、それぞれの立場から環境に配慮した行動を積極的に行うことが求められています。「入間市環境まちづくり会議」は、これらすべての主体の参加のもと、全市民的なパートナーシップ型の推進組織として、約半年間の準備期間を経て、本年7月に発足したわけですが、その間の岡内会長を始め、役員の皆様のご尽力に対しまして感謝申し上げます。今後、この環境まちづくり会議の

設立を機に、市、市民、事業者および民間団体の横の連携が図られ、環境の保全と創造に向けた取り組みが促進されるものと期待をしています。また、このたび会報を創刊されたことで、会員相互の交流、環境情報の提供はもとより、すべての市民や団体等への環境情報の発信源としても期待されるところであります。そして、これらの情報が共有化されることにより、環境まちづくり会議が環境活動の推進役としての役割をはたし、環境にやさしいまち「入間市」の実現に向けて、その行動の輪が、さらに広がっていくものと確信しております。最後に、貴会のみましますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉をいたします。

■入間市環境まちづくり会議役員

会長	岡内定男 (事業者)	副会長	井上正行 (市民)						
運営委員	(市 民)	(事業者)	(民間団体)	監事	(市 民)				
	青井 犬川 菅 武平	生河 佐 鈴 谷 吉	宇 田 繁 義 久 榮 合 平		大 八				
	島 口 塚 村 沼 田 田	山 村 藤 木 口 川	田 村 島 宮 本		木 代 瑞				
	利 理 子 雅 雄 美 子 雄	武 正 幸 洋 秀 涉	繁 忠 貞 小 康						
	裕 光 満 恵 和	史 幸 三 明 男 明							



環境まちづくり会議は こんなことを行っています。

環境にやさしい「入間市」をつくるため、市民や事業者が主体となって、環境に配慮した身近な取り組みを、できることから、目的を一つにする仲間と一緒に活動しています。運営委員は、四つの委員会にわかれ活動しています。

総務委員会

入間市環境まちづくり会議が進める今年度の事業計画の中で、「環境市民講座」と「交流会や意見交換会の開催」を担当するのが総務委員会です。

5人構成の当委員会では、来年1月より開始する講座の企画準備に取り組んでいます。この度その内容が決まり、会員のみなさんへご案内できるようになりました。（詳細は「環境市民講座の開催案内」をご覧ください。）

この講座の企画運営のほかに、市民環境デー等の企画も検討する予定です。委員会の活動は、私たち5人の運営委員に加えて会員の多くのみなさんの参加と協力で作られていくと思います。是非、いろいろな知恵と力を寄せてください。

環境行動委員会

環境行動委員会では、平成13年7月に開催された総会において議決された事業の内、「●各自が環境にやさしい行動宣言をすること。●環境基本計画の勉強会を行うこと。」を担当します。

環境行動委員会では幅広い、数多くの行動案が出され、運営委員会で協議し、次のことを行います。

1. 会員の皆様に「環境行動の自主点検」をお願いします。

入間市環境まちづくり会議に入会されたとき、自主行動宣言として、環境にやさしい行動メニューに○をして頂きましたが覚えておられますか？ 次回の会報には、みなさんが自ら行っている環境に配慮した行動をチェックシートで返送していただくことを考えております。

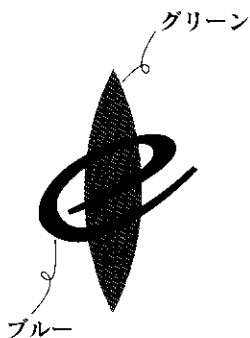
2. 環境市民講座の受講者の方に「環境行動宣言のアンケート」を行います。

市民講座の勉強会時に会員の参加を募り、環境にやさしい行動宣言にチャレンジして頂きます。

会報編集委員会

会報編集委員会では、5人の委員により、同まちづくり会議の会報を年2回発行することを担当しています。今後は、会のホームページなどでの情報交換も行いたいと思います。

啓発委員会



入間市の「I」とエコロジーの「e」をモチーフに図案化し、快適な環境のまちづくりをめざし、市民と事業者と行政が共に取り組める発信基地として、会の発展と飛躍をイメージしたデザインです。基本配色は、豊かな大地のグリーンと澄みきった大気のブルーを表わし、活力ある会のイメージを象徴しています。

ロゴデザインは瀬野敏春氏

啓発委員会のおもな役割は「入間市環境まちづくり会議」のロゴマークを決めたり、そのロゴでステッカー・封筒などを作成したりすることです。ロゴは市民の目にとまる様、ステッカーにして会員の皆さんにお配りして玄関先や店頭などに張っていき、この会の活動を広めたいと思っています。会報No.2と一緒に送ることができるよう、ただいま作成中です、お楽しみに。

心をいやす、身近な雑木林を大切に!!



雑木林のなかの落葉入れ

庭の草むしりをしていった時の事です。日影に生えた3cm位の草に、小鳥の羽毛の様な小さな白い毛虫が一匹、張りついていました。彼は、その細い葉を食べ僅かな空気を呼吸し命をつないでいる。何と慎ましい生ノ良い環境は多くの生き物を育むといわれますが、それを保つ為には、つまりこういう虫の生活を認めるという事なのかもしれません。入間市の雑木林は生き物の宝庫。となりのトトロならぬとなりの自然、平地林の保護は意義深いのですが、定期的な作業場所は1カ所だけ。それでも車の進入を防ぐ杭打ちや落葉入れ作り等盛り沢山で、毎回良い汗を流しています。特に落ち葉入れは近所の人とカ

プト虫から喜ばれ、今夏、3×4mの囲いで100匹以上の幼虫が育ちました。又、年間何万匹もの虫を捕るシジュウカラを増やす為の巣箱作りや、クワガタ虫ゲットのお楽しみ付き夜の観察会等のイベントもあり「地球に良い事やつてる」という充実感が味わえました。

残念ながら現行法で平地林の減少を防ぐのは難しく、かといって人工のピオトープは未熟な自然で、最後の選択とするべきでしょう。

ピオトープも視野に入れつつ平地林保護、と方向は複雑ですが、人間が大切だから自然が大切/温暖化抑制、水や大気の浄化、そしてそれ自体ゴミを出さない完全リサイクルの雑木林。春夏秋冬、個性的な装いで目を惹きませ心を癒し、未来の子供達の感性を研く身近な林づくりを、これからも続けて行こうと思います。

武田恵子

(注)ピオトープ

ドイツ語のBios(生物)とTops(場所)を合成したもの。直訳すると「生き物の生息場所」となるが、この生き物とは、各地域の生態系に合った野生生物を指す。また、人工的に作られたこの様な場所もピオトープと呼ばれている。ピオトープは、人間にとっても快適だということが認識され、市街地のなかに孤立してあるのではなく、ネットワーク化が重要視されている。入間市でも環境教育として、金子小学校、藤沢南小学校などで手づくりのピオトープが作られている。

出来る事から行動に

環境って何? 自然・空気・水・食料・ゴミ・騒音etc:幅の広い奥深い問題です。私たちには今のところ差し迫った問題が無いように見えますが、子供・孫達の時代を想う時、今何が出来るか?しなければならぬか、出来ることから行動に移す時なのであります。

子供の頃、プールの中で我慢することが出来ず、密かに小便をしたことがありますが、まさに、環境を守り、公害を出さないよう努力することは、プールの中でガマンをすることと同じではないのでしょうか? 私たちは地球・地域と言うプールの中で生きていくのですから!

また、温暖化防止で炭酸ガスを減らすには、省エネが一番! 暑い・寒いに少しはガマンもし、いい意味のケチになることではないのでしょうか?

「もつたいない、お金がかかる」と、一昔前の考えに戻る必要があるのではないのでしょうか? そんなことで会員の皆様には入会時に確認いただいた「環境にやさしい行動メニュー」の点検表を思い出していただき、各々自主点検をしていただきたいと思いますので、会員の皆様よろしくお願ひします。

とにかく、プールの水を汚さないよう出来る一歩から始めましょう。

谷口秀男

環境にやさしい行動宣言をしよう

環境にやさしい行動宣言は、皆さんが自ら行っている環境に配慮した行動を改めて宣言することです。環境に対する意識をより高める効果や入間市環境基本計画とのつながりを実感したり、仲間と達成感を共有することもできます。

環境にやさしい行動メニュー

- 1 農地や平地林の保全に努めます。
- 2 環境にやさしい農産物の生産や購入に努めます。
- 3 農薬や化学肥料、除草剤の使用を減らします。
- 4 低公害車の導入を積極的に進めます。
- 5 車の使用を極力控え、バスや電車を利用します。
- 6 アイドリングストップを実践します。
- 7 環境負荷の少ない製品の製造や販売に努めます。
- 8 使わないときは主電源を切り、節電や省エネに努めます。
- 9 節水や雨水利用に努め、水を大切に使用します。
- 10 宣伝用チラシは再生紙を使用します。
- 11 環境に配慮した商品の品揃えに努めます。
- 12 商品の簡易包装に努めます。
- 13 レジ袋やブックカバーを断ります。
- 14 マイバッグ(買い物袋)を持つ習慣をつけます。
- 15 なるべくエコマークのついた商品を購入します。
- 16 空き缶やたばこのポイ捨ては絶対にしません。
- 17 ルールを守りごみの分別を徹底します。
- 18 ごみ減量・リサイクル活動などに積極的に参加します。
- 19 廃棄物の排出抑制や適正処理に努めます。
- 20 有害化学物質による汚染を防止します。
- 21 騒音や振動、悪臭の防止に努めます。
- 22 安全な建材の使用に努めます。
- 23 生活や事業活動から生じる排水を適正に処理します。
- 24 丘陵地や河川沿いの緑を大切にします。
- 25 草花を育て、地域や職場などの緑化に努めます。
- 26 情報メディアを利用して環境の大切さを伝えます。
- 27 その他(項目にない宣言でも結構です。)

●環境市民講座開催のお知らせ

“環境市民になるための講座”という意味合いを込めて“環境市民講座”と命名したこの講座は、環境まちづくり会議の会員だけでなく、多くの市民に参加してもらいたい4回構成の講座です。

1回目	1月19日(土)	森 賢三 (インテージ主任研究員)	〔環境まちづくりの展望〕 住みやすい環境を保つため、環境負荷を抑えたまちづくりを実現し、持続させるため、先行する地域の取り組みから学ぶ
2回目	2月9日(土)	井上 康平 (緑生研究所代表取締役)	〔緑から見たまちづくり〕 市内に現存する緑環境が持っている効用、それを生かしたまちづくりを学ぶ
3回目	2月23日(土)	田尻 要 (国立群馬工業高等専門学校助教授)	〔水から見たまちづくり〕 水の循環を知り、環境にダメージを与えない利用について、先行する地域の取り組みから学ぶ
4回目	3月9日(土)	小澤 祥司 (アースキッズ代表取締役)	〔学び行動する環境市民〕 学校教育とNPO、行政と市民が連携して環境まちづくりを進めていくヒントを学ぶ

※各回とも定員50人。時間は14時開始の講義90分。会場はアミーゴ。

受講者の受付を、12月10日(月)から事務局で行います。4講座とも希望されるのはもちろんのこと、どれかお好きな講座をお選び頂いても構いません。参加費は無料です。

編・集・後・記

早いもので、今年もあと一カ月を残すのみとなりました。今年度は、金融不安、テロ事件、狂牛病の発生、失業率の増加などの暗いニュースがありました。11月にモロッコで開かれたCOP7で京都議定書が最終合意され、温室効果ガスの地球規模での削減対策が動き出すことになりました。また、大リーグにおけるイチローの大活躍も日本中を沸かせた明るい話題です。会員のみなさんには、本年7月の設立総会ではないへんお世話になりました。行政主導でない総会の運営も、新しい組織の誕生を感じさせました。おかげさまで設立当時330人であった会員も400人になろうとしています。

環境まちづくり会議では、8月に1回目の運営委員会を開催し、その後、組織内に4つの委員会を設置して、今年度に行う事業の検討を行い、このたび、はじめての会報や「環境市民講座」の案内をする事ができました。意見交換の場として活用ください。編集内容についてのご意見がありましたらお寄せいただきたいと思います。次号は、来年の3月に発行する予定です。

(井上)

会員募集のお知らせ

入間市環境まちづくり会議では、会員の募集を行っています。市役所や支所、公民館に置いてある入会申込書にご記入の上、事務局(入間市役所環境課)や、その置いてある各窓口にご提出下さい。提出方法は、ご持参いただくか、郵送FAX、Eメールでも可。

入間市環境まちづくり会議

事務局：入間市役所環境経済部環境課
住所：〒358-8511 入間市壺岡1丁目16番1号
TEL：042-964-1111(内線1241,1243)
FAX：042-965-0232
E-mail：kankyo@city.iruma.saitama.jp

●会員数 (平成13年11月現在)
399人
内訳
市民 152人
事業者 171人
民間団体 49人
行政関係 27人

■会員の皆さまより声を募集しています。
またこの会に対する、ご意見ご要望がございましたら、お寄せ下さい。